

R6年度 富屋特別支援学校鹿沼分校 学校評価シート

教育目標	一人一人の障害の状況等に応じたきめ細やかな教育を行い 自信と意欲を育てることにより持てる力を伸ばし、社会において自律的に生きていく基礎を培う
めざす学校像	1 児童生徒の健康と人権を守り、児童生徒が安心して安全に学べる学校 2 児童生徒が意欲的に学び、自信をもって楽しく活動できる学校 3 家庭や地域との連携を大切にし、信頼される学校 4 教職員が協働し、明るく活気にあふれる学校

今年度の重点目標		推進担当部	達成目標	具体的な取り組み
家庭や社会で自立的に生きていく力を育てる指導の充実	①家庭生活、社会生活、職業生活につながる学習内容、指導方法の工夫をする	学習指導部	・興味関心や好きなことを生かした授業づくりを推進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「生活に生かせる算数・数学科の教材教具とその活用法」をテーマにした校内教材教具展を開催する。</li> <li>・生活につながる「職業・家庭」の指導内容について、中学部内で検討を行い、系統立てて年間指導計画に盛り込む。</li> <li>・事例検討会(自立活動指導充実事業)や自立活動シートの作成などを通して、興味関心や好きなことを指導に生かすことの大切さについて周知する。</li> <li>・将来の生活に必要な力についての研修を行う。</li> </ul>
		教務部	・指導上の課題について各学部や分掌部と情報交換を行い、指導力の向上を図るための校内研修を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT等についての研修を行い、授業や教材教具作成に生かす。</li> <li>・学部や分掌部が主体となる研修を取りまとめ、職員会議後に、ミニ研修会を実施する。</li> </ul>
	②健康で安全に生活する意識と実践力を育成する	児童生徒指導部	・児童生徒が安全に生活する意識を高める交通安全教育を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実態に応じた交通安全教室を実施し、地域学習などの際に実践する。</li> <li>・取組についてホームページで周知する。</li> </ul>
		健康安全指導部	・児童生徒が自分の身を守る行動について学び、実践できる力を高める防災教育を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練や事前、事後学習を通して、自分の身を守る行動について学び、実践できるよう指導する。</li> <li>・避難訓練の様子をホームページに掲載し、家庭での防災教育につなげる。</li> <li>・うがい、手洗いなど清潔に関する習慣を身に付けられるよう指導する。</li> </ul>
	③家庭への情報提供や連携を工夫し学んだことを生活につなげる	教務部	・ホームページを活用して学習活動に関する情報発信を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分掌部で関連する行事や日頃の学習の様子などを定期的にホームページに掲載するよう、各部や係に発信する。</li> <li>・タブレットの持ち帰りができるよう整備する。</li> <li>・ホームページの活用法を検討、提案することで、学校での取組を家庭と共有する。</li> </ul>
		小学部	・保護者に学習の様子を分かりやすく伝えることで、家庭と連携し学習の定着を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページや保護者会、個人懇談などを通して、動画や写真で学習の様子や成果を保護者に伝える。</li> <li>・学校で学んだことを家庭でも実践できるよう、日頃活用している手順表等を家庭と共有する。</li> </ul>
中学部		・学習の取り組みについて保護者に伝え、家庭での定着を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の様子をタブレット等で記録し、個人懇談や保護者会、またホームページで保護者に伝える。</li> <li>・清掃(テーブル拭き、床掃除)について、日常生活の指導や、生活単元学習、職業・家庭を中心に、基礎的な知識と技能の習得を図る。</li> <li>・長期休業中の「生活表」を活用し、手伝いを決めて毎日行うことで、家庭生活につなげる。</li> </ul>	
人との関わり、地域との関わりを広げる指導の充実	①人と関わる機会を大切に、コミュニケーション能力の向上を図る	学習指導部	・人との関わりに関する指導の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉遣いや関わり方に関する指導の充実を図る。</li> <li>・行事や挨拶運動を通して、学年や学部を越えて児童生徒が関われる活動を工夫する。</li> <li>・学校間交流において、実態に応じた関わり方を工夫する。</li> <li>・朗読ボランティアや西中とのおはなし会などの機会を活用し、学校以外の人との関わりを広げる。</li> </ul>
		相談支援部	・地域と連携して広く情報発信を行い、学校を知ってもらうことで、ボランティア登録者数の増加を図り、学習活動の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域イベントへの積極的参加、ホームページや学校公開、たよりなどをとおして、地域に広く情報を発信し、ボランティアの具体的な活動や取組を周知し、ボランティア登録者数や活動内容の拡充を図る。</li> </ul>
	渉外部	・地域の人材を生かした活動を継続する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・和太鼓交流を継続する。</li> <li>・授業につなげられるよう各担当者に依頼する。</li> <li>・活動の様子をホームページで発信する。</li> </ul>	
いじめ防止対策	いじめの実態の把握及びいじめに対する措置を適切に行う	児童生徒指導部	・いじめの未然防止や早期発見について、組織的な対応を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校と家庭、関係機関の密接な連携の下「学校生活アンケート」を実施し、児童生徒の思いを把握する。</li> <li>・連絡帳の確認や、保護者との懇談等をおとして、早期発見に努める。</li> <li>・いじめを把握した際には、「いじめ対策委員会」を設置し、組織的に対応する。</li> </ul>